

記者配布資料

平成30年(2018年) 7月 5日

部課名等	課長・理事長名	班長名等	担当者職・氏名	連絡先・県庁内線
山口県商工労働部 新産業振興課	課長 伊田 敏章	産業クラスター推進班長 西野 知子	主査 佐々木 信	083-933-3150 内線：3152
(地独)山口県産業 技術センター	理事長 木村 悦博	プロジェクトプロデューサー 安田 研一	企業支援部副部長 松本 佳昭	0836-53-5061
発表内容の 関係地域	【全県】 、岩国、柳井、周南、山口、防府、 【宇部】 、 【山陽小野田】 、下関、 長門、萩、首都圏			

次世代産業クラスター構想推進における事業化案件について

県では、「やまぐち次世代産業クラスター構想」の推進に向けて、「医療関連」「環境・エネルギー」分野において、産学公金連携による研究開発・事業化の促進に取り組んでいます。

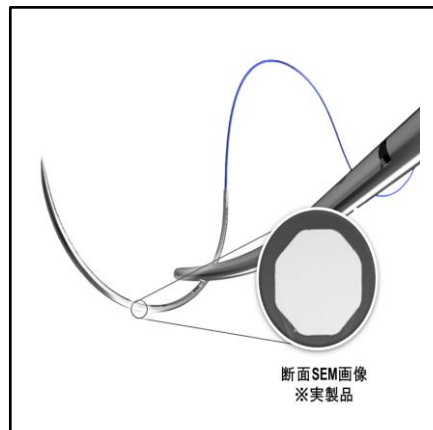
株式会社アルモウルド（宇部市）、ジャパンファインスチール株式会社（山陽小野田市）及び県産業技術センターは、医療関連分野において、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)を活用し、八角断面縫合針を実現するワイヤ伸線加工技術の高度化とともに、その加工装置を開発しました。

この度、医療機器メーカーである株式会社河野製作所（千葉県市川市）により、「Octacus(オクタクス）」として八角断面縫合針が製品化されますのでお知らせします。

記

1 事業化案件の概要

開発テーマ	世界初・八角断面縫合針を実現するワイヤ伸線加工技術の高度化とその装置の開発
構成	【研究等実施機関】 ・株式会社アルモウルド ・ジャパンファインスチール株式会社 ・地方独立行政法人山口県産業技術センター ＊産技センターは事業管理機関としても参加
支援内容等	戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)（平成28年度採択）
事業概要	【開発テーマの背景・概要】 血管吻合術や腹腔鏡下手術等の微細術式で使用される縫合針において、把持部の断面形状に工夫を凝らすことで把持力を保持したまま把持角度を調整したいという潜在的ニーズがあった。 従来、加工が困難とされてきた高強度ステンレス線の異形加工において、加工技術を高度化し、商用生産向け加工装置を開発することで、八角形断面を有する細線ワイヤを開発した。このワイヤを使用し、医療機器メーカーにより八角断面縫合針が製品化された。



(裏面に続く)

2 研究等実施機関の概要

企業等	株式会社アルモウルド 県内中小企業	ジャパンファインスチール株式会社
代表者	杉野 修二	長尾 浩司
住所	宇部市際波 1770-1	山陽小野田市石井手 1-19-1
資本金等	4,000 万円	10,000 万円
従業員等	48 名	175 名
事業内容	一般機器製造業等	各種金属製品の製造・販売
事業化における役割	異形線の製造装置開発	異形線の製造及び技術開発

3 八角断面縫合針「Octacus (オクタクス)」について

○概要

① 把持角度の微調整が可能

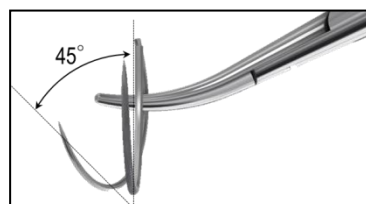
把持部を八角形状にすることで45° 刻みで縫合針の把持角度を調整することが可能

② 確実な把持

45° に傾けて把持した場合も確実に縫合針を把持することが可能。



自由に確実な運針が可能



○販売企業

企業名	株式会社河野製作所
代表者	河野 淳一
住所	千葉県市川市曾谷 2-11-10
資本金等	1,000 万円
設立	1970 年 5 月
事業内容	医療用縫合糸をはじめとした医療機器の開発、製造、販売
問合せ先	広報担当：玉田 TEL：047-372-3281 E-Mail：stamada@crownjun.co.jp

○販売開始時期：2018 年夏（予定）